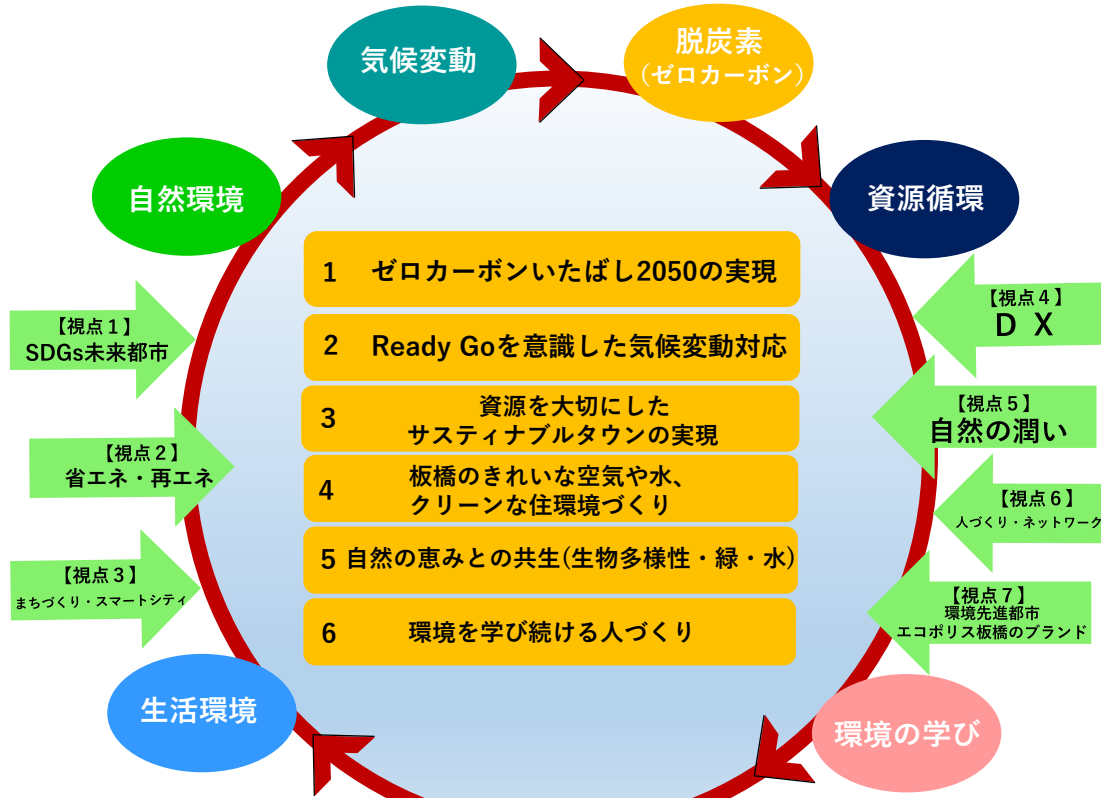


(仮称) 板橋区環境基本計画2035の基本方針 (概要)

1 計画の基本方針

【基本的な考え方】

- ・次期基本計画との整合をもった策定
- ・SDGs未来都市としてのゼロカーボンシティ・スマートシティの実現
- ・短期間のアクションプランを盛り込んだ中長期的な施策を示す総合的な計画



区民・事業者・区等が一体となった計画の推進

2 計画の柱となる事項

(1) ゼロカーボンいたばし2050の実現

ゼロカーボンに向けて、区民・事業者・区等が一体となって、省エネ・脱炭素に関する取組を通して、着実に温室効果ガス排出量を削減していく。省エネ・脱炭素については、①区民生活・事業活動への省エネの定着、②再生可能エネルギー100%電力の利用、③建築物のゼロエミッション化のほか、④エネルギー管理(※)、⑤まちづくりにおける環境配慮(エネルギーコージェネレーション等)、⑥スマートシティの推進等の課題を鑑み、ゼロカーボンいたばし2050を実現していく。
※エネルギーの使用状況を可視化し、エネルギーコストと温室効果ガス排出量の削減を両立する等、エネルギーの効果的な利用を進めていく。

(2) Ready Goを意識した気候変動対応

平均気温の上昇、真夏日・猛暑日の増加、豪雨の頻発等、地球の気象の変化が激しくなっており、区の地域の特性を踏まえ、こうした気候変動の対応に備えていく。

(3) 資源を大切にしたいサステナブルタウンの実現

SDGs(目標12「つくる責任、つかう責任」)の観点を踏まえ、エネルギー・資源の効率的な使用やフードドライブの一層の推進により、大量に消費する生活や事業活動から、より環境負荷のないライフスタイルに変革を図り、環境と経済のバランスに配慮した、持続可能なまちを構築していく。

(4) 板橋のきれいな空気や水、クリーンな住環境づくり

大気汚染や水質汚濁、騒音等により、区民の生活に被害が生じることのない、安心・安全なまちにしていく。また、廃棄物収集・運搬業務を万全な体制で実施し、区民の生活の基盤を支えていく。

(5) 自然の恵みとの共生(生物多様性・緑・水)

市街地化が進んでいる板橋区において、動物や植物等の生物が調和する生物多様性やそれを支える緑や水を保全・回復し、自然の恵みと共生するまちをめざしていく。

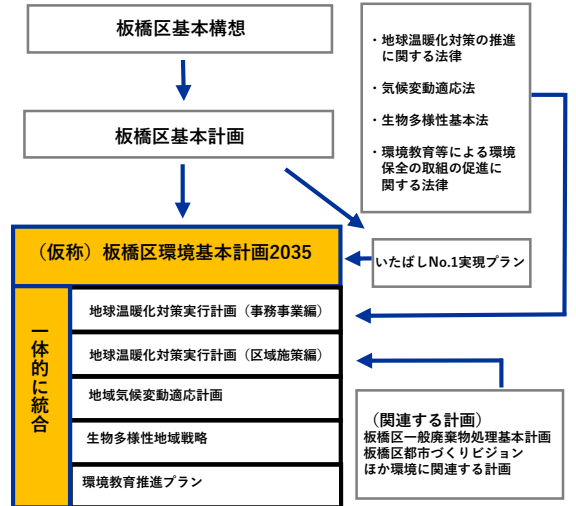
(6) 環境を学び続ける人づくり

区民・事業者・区等が連携し、環境について興味や関心をもって継続して学び、周囲との関わりを通して考えを深め、それぞれの立場から、環境に関する問題や課題に主体的に行動する人づくりに取り組んでいく。また、学びの裾野を広げるネットワークづくりを進めていく。

4 計画の期間

令和8(2026)年度から令和17(2035)年度までの概ね10年間。

3 計画の位置付け



5 検討体制

